



森高校 学校だより

3 trees News

2026

9

VOL.18

■ 森町・玉川学園協定締結式

■ サクラの識別アプリを開発！

8月20日（木）に行われた森町と学校法人玉川学園の包括連携協定締結式で、本校2年生の探究グループが「サクラの種類を識別するアプリ」の発表を行いました。きっかけは、今年の2月に本校で生成AIによるプログラミングの出前授業をしていただいた玉川大学の加茂フミヨシ先生が、探究テーマに森町のサクラを扱う本校生徒と対話する中で、「森町に桜の観賞に来た観光客が、園内で見た桜の品種を簡単に識別できれば、もっと楽しんでもらえるのでは」という生徒のアイデアをもとに、「生成AIを使って、サクラの花を判別できるアプリを開発しよう」という結論に到りました。作業は、4月から本格的に行われ、生徒達は、桜開花時期に沢山の桜の写真を撮影し、サンプルを作りました。撮影した写真は約2,000枚にのぼりましたが、加茂先生のご指導を仰ぎながら、コツコツとプログラミングや作業に時間をかけ、話し合いをしてきました。そして8月、ついにアプリが完成し、その後はプレゼンの練習を重ねながら、発表当日を迎えました。

本番では、岡嶋康輔町長や玉川学園の小原芳明理事長はじめ、多くの参列者が見守る中、メンバー全員がそれぞれの役割を果たし、堂々と成果を発表することができました。

今回、生徒が共同開発した桜識別Webアプリ「さくらレンズ」が、来年以降、森町を訪れる観光客の方々に楽しんでいただき、森町の桜にさらに親しみをもち、毎年足を運ぶきっかけとなることを願っています。

ご多用な中、専門的見地からわかりやすく丁寧にご指導をいただいた加茂先生をはじめ、素晴らしい出会いと経験を与えていただいた玉川大学ならびに森町役場の関係者の皆様に厚く感謝申し上げます。



<感想> 2年 東 祐斗

森町と玉川学園の協定締結式で発表することができ、とても貴重な経験になりました。発表前はかなり緊張しましたが、実際に多くの方の前で発表することで普段とは違う経験ができて良かったです。また、もともとあるAIをつかうだけでなく、自分たちで新しく学習させて使うことにもメリットがあると知り、AIについてさらに興味を持ちました。これからアプリを完成させて沢山のの人に使ってもらい、森町が誇る素晴らしいサクラをもっと親しんでもらえるようにしたいです。



■ シェイクアウト 防災力をさらに高める！

9月1日（火）に全道一斉防災訓練「北海道シェイクアウト」に本校として初めて参加しました。これは、北海道が主催となり、道民一人ひとりの防災意識の醸成を図るとともに、地震発生時の安全確保行動や日頃の備えについて改めて考えるきっかけとすることを目的に行われています。

当日は10時の時刻とともに、生徒は放送に従って、「DROP（まず低く）！・COVER（頭を守り）！・HOLD ON（動かない）！」をそれぞれの教室で実践しました。

7月に熊本地方でマグニチュード7.1の大きな地震があり、甚大な被害が生じたことは記憶に新しいところです。森町でも昨年、今年と地震が数回発生し、津波警報に伴う避難指示も発令されました。

咄嗟の時に正しい判断と行動がとれるよう、今回のようなシェイクアウトは大切です。本校ではこの後、10月にも「1日防災学校」を実施し、生徒・職員における災害への基礎知識や防災力（危険回避力）を育んでまいります。



大学出前講義

様々な分野に触れ、自分の進路を考える

本校では、生徒が社会の様々な分野に触れ、学問の奥深さや面白さを実感しながら、将来の進路選択を組み立てていくことを目的に、1年次の早い段階から「出前講義」を数多く行っています。

今年度はキャリア教育を実践する「産業社会と人間」という授業の中で、「大学出前講義」を計画し、専門性の高い学問に触れながら知的好奇心を高め、生徒は視野や関心を広げています。

今回は3回のシリーズで道内の私立大学と連携を図り、6つの学科の講義を行いました。

1年生は自分が希望したコースに分かれ、普段の授業とはひと味違った専門的な内容に、皆熱心な表情で受講していました。

総合学科の必修科目である「産業社会と人間」では、この他にも「森町の基幹産業をテーマとした授業」や「生成AIやデータサイエンスを学び、探究力を高める授業」など、生徒が「これからの社会に生きる力を養うための授業」を幅広く展開しています。生徒が自分の生き方や進路について、生き生きと道を拓いていけるよう、しっかりサポートしていきます。



<出前講義の内容>

- 第1回：「愛される“マチ”に必要なことは？」（北海商科大学 商学部 観光産業学科）
「スポーツ・バイオメカニクスの世界」・「パフォーマンス発揮に関わるコンディショニング」（北翔大学 生涯スポーツ学部）
第2回：「イーブイの「しんか」の正体を暴け！～ゲームの設定は現実の生物学で説明できるか？～」（北海学園大学 工学部 生命工学科）
「スポーツメンタルトレーニング（実力発揮の方法）」（北星学園大学 文学部 心理・応用コミュニケーション学科）
第3回：「eスポーツ体験やその可能性、教育への活用方法」（札幌国際大学 スポーツ人間学部 スポーツビジネス学科）
「スポーツ栄養学～パフォーマンスを最大限発揮する栄養学～」（北海道文教大学 人間科学部 健康栄養学科）

<受講した感想> 1年 安岡 夢斗

今回の出前講義では、北翔大学の講義「スポーツ・バイオメカニクス」が特に印象に残りました。Wiiフィットボードなどの器具を使い、身体のどの部分を鍛えればパフォーマンスが向上するのかを測定・分析しました。高いパフォーマンスを発揮するには十分な筋力をつけるとともに、動作の仕組みを科学的に理解することが不可欠だと再認識しました。今後の部活動での補強運動としても励みたいです。



北星学園大学



北海商科大学



札幌国際大学



北翔大学



北海学園大学



北海道文教大学

生徒紹介 新しい仲間が増えました！（我们迎来了一位新成员！）

夏休み明けの8月21日（金）から本校に新しい仲間が増えました。名前は趙 美萱（チョウ ビケン）さんです。中国の河南省からこのたび転入学してきました。まだ森町に来てから1か月ほどですが、勉強熱心で、日本語もどんどん覚えています。迎え入れた側の私たちも中国の文化や言語を学ぶ絶好の機会にするとともに、お互いに異文化理解や多文化共生を学べる場として森高校での生活を高め合っていきたいと思います。

<趙さんへのインタビュー>

- Q1ー日本の食べ物で何が美味しいですかー 「ラーメンとたこ焼きがとても美味しいです。味や食感は中国のものとは大きく違います」
Q2ー趣味は何ですかー 「小説を読むことが好きです。暇な時は音楽を聴きながら小説を読みます。たまにアニメも観ます」
Q3ー森高校に入学して感じた印象を教えてくださいー 「クラスメイトも先生も優しいです。学校の雰囲気も穏やかで、安心して勉強できます」
Q4ー日本と中国の高校の違いはどんなところ？ー 「日本の高校は「総合的な探究の時間など、授業の種類が多いです。中国は受験勉強の比重が大きいと思います」
Q5ー高校での抱負を教えてくださいー 「日本語を上手になりたいです。勉強を頑張りながら、クラスのみんなとも仲良くなりたいです」
Q6ー将来の夢を教えてくださいー 「まだはっきり決まってません。でも色々なことを学んで、自分に合った道を探したいです」



<今後の主な行事>

9/29～30 スポーツ・レクリエーション大会

10/1 後期始業式 生徒会役員認証式

10/5 管内高等学校教育相談研究会 10/6 幼保小中高合同教育相談講演会

10/7 教育相談講話 10/8 1日防災学校 10/13 北方領土学習会

10/15～16 総合学科全道大会（室蘭） 10/20～23 見学旅行（2年次）

森高 One up!



←森高キャラクター
「はたてん」

森高公式noteは
こちらから



森高公式Instagramは
こちらから

